

取扱説明書

ホッパースタンド SHS11

はじめに

ホッパースタンド SHS11 をお買い上げ頂きありがとうございます。
本製品は、

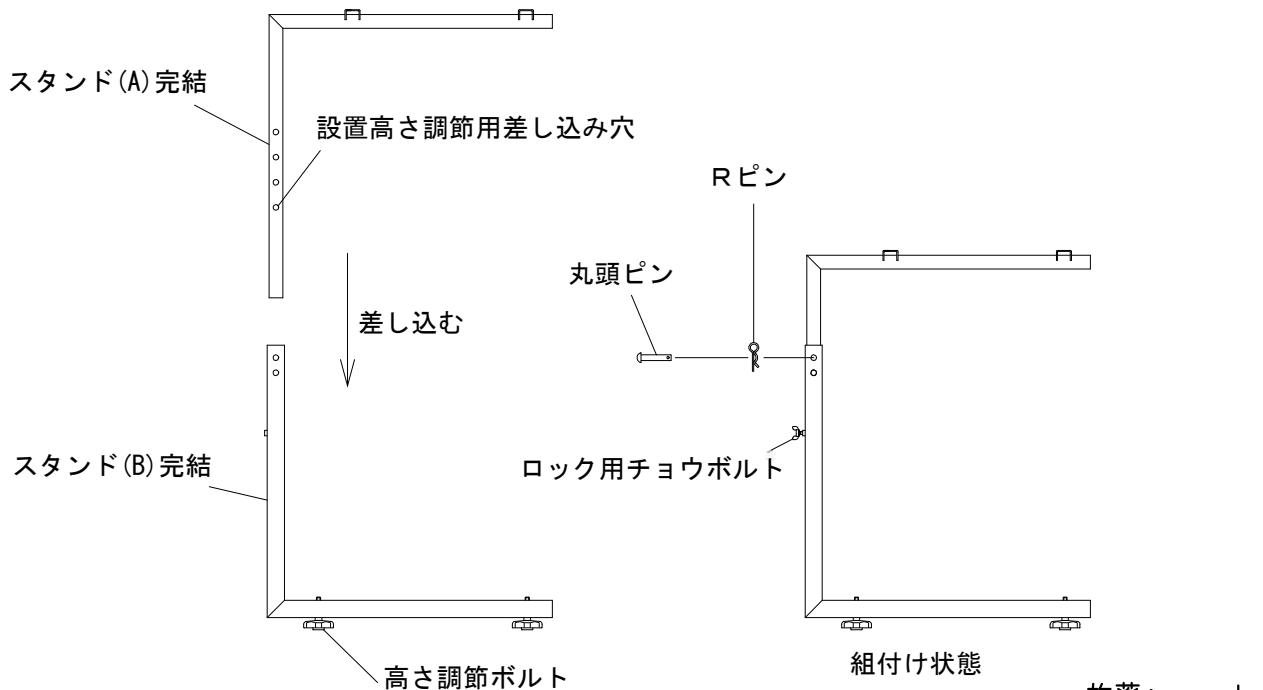
苗箱施肥ホッパー SDP-33S、33L、103S、103L、120、120K

苗箱施肥ホッパー SHK-30A、60A、60KA

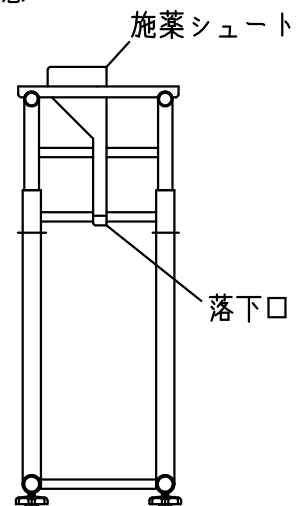
のスタンドとしてご使用ください。なお、取扱説明書を良くお読みの上、正しくお
取扱ください。

1. 本機の組立

- ① スタンド(A)完結をスタンド(B)完結に差し込み、図の様に組付けます。
- ② 丸頭ピンで適当な穴に差し込み、Rピンで固定します。ガタ止めのため、
チョウボルトでロックしてください。



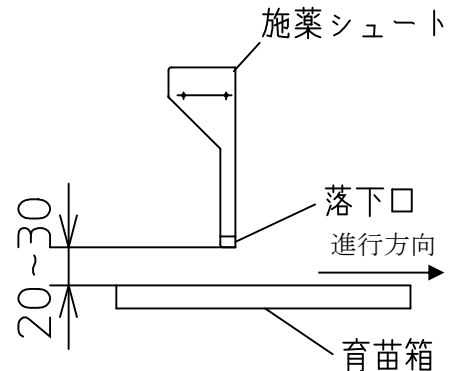
- ③ 図の様に施肥シュートの落下口が中心になる様セット
してください。
組付けは、施肥シュートのピンを切欠きにハマコム
だけです。
なお、施肥シュートを反対向きにセットすることにより、
落下口を移動させることもできます。



2. 高さの調整

- ▲注意** 苗箱施薬（施肥）ホッパーを組付けた状態での高さの調整は行わないでください。重量が重くなりますので、思わぬケガをするおそれがあります。

施薬シュートの落下口と育苗箱上面のスキマが 20～30mm になるようにホッパースタンドの高さを調整してください。



3. セッティング

- ① 苗箱施薬（施肥）ホッパーを乗せ、オビナット、六角ボルトにて固定します。
※苗箱施薬（施肥）ホッパーに箱ガイド、ブラシなどが組付いている場合、取り外してください。本機の付属品（施薬シュート）が組付かなくなります。
※スタンド(A)完結の取付穴は、設置位置が調節可能な様に長穴になっています。薬剤（肥料）の散布が施薬シュート内に収まる様に苗箱施薬（施肥）ホッパーを適切な位置に合わせてください。
- ② 播種機上の薬剤（肥料）を散布する場所にセットします。施薬シュートの落下口が入るスペースがあっても他の場所が周辺装置に干渉する場合がありますので注意してください。
- ③ 施薬シュートの落下口が育苗箱と平行になるように高さ調節ボルトにて調節してください。

4. 運転

- ① 運転事項は、苗箱施薬（施肥）ホッパーの取扱説明書を熟読してください。
- ② 薬剤（肥料）が約 200mm 高い位置から散布されますので電源の『ON』『OFF』時に散布ムラが生じてしまいます。苗箱施薬（施肥）ホッパーを『ON』にする時は、育苗箱が落下口に来る少し前に。又、『OFF』にする時は、育苗箱が過ぎてから行ってください。

29206-41550